

じどうしつだより No. 71 (2010. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『くさいくさい！』</p> <p>和田登文 和田春奈絵 星の環会 2009.12</p> <p>1109814650</p>	<p>むかし、千田村の農民たちは、町の旅館から旅人の残っていたウンチやションベンをもらい、それを肥料にして作物を育てていた。ところがある年、旅館のかしら甚左衛門が、ただでやるのはもったいないから金をとるといいだした。おこった農民たちは町へこなくなり、あわてたのは甚左衛門たち。くさいウンチやションベンがあふれだしたらたいへんだ。実際の事件を題材にした創作話。</p>
<p>『たいふうがくる』</p> <p>みやこしあきこ作・絵 BL出版 2009.12</p> <p>1109806890</p>	<p>あしたはかぞくでうみにいくんだ。でも、「これからたいふうがくるから、きょうはもうげこうするように」って、ホームルームでせんせいがいったんだ。たいふうなんてやだ！ずっとまえからうみにいくのをたのしみにしてたのに。たいふうをおいはらうきかいがあればいいのにな。たいふうよりつよいかぜをおこして、そして…。</p>
<p>『だれのかお？』</p> <p>星川ひろ子さく 福音館書店 2009.10</p> <p>1109787516</p>	<p>びっくりしてるの、だれかな。なきだしそうなの、だれかな。わらってるの、だれかな。おうちにあるどうぐやいつもつかっているものをじーっとみてごらん。いろんなかおにみえてくるよ。とぼけた表情がいっぱいのゆかいな写真絵本。</p>
<p>『ピンクがすきってきめないで』</p> <p>ナタリー・オンス文 イリヤ・グリーン絵 ときありえ訳 講談社 2010.1</p> <p>1109823855</p>	<p>わたしは黒がすき。ふつう、女の子はピンクがすきだけど、わたしはいや。おひめさまも、きらきらひらひらしたのも、人形もすきじゃない。ママはわたしのことを「男の子顔まけね」っていう。それって「ちょっとへん」ってこと？女の子がきょうりゅうや虫がすきだっていいじゃない！どうして女の子は男の子のものをすきになっちゃいけないの？</p>
<p>『ふしぎなガーデン』 知りたがりやの少年と庭</p> <p>ピーター・ブラウン作 千葉茂樹訳 ブロンズ新社 2010.1</p> <p>1109823864</p>	<p>むかしむかし、庭も草木もみあたらないあじけないまちがあった。そのまちにすむ外遊びの好きな少年リーアムは、ある日、ふるくてつかわれなくなった鉄道の線路へのぼってみた。そこで見つけたのは、かれそうな草木。たすけてあげなくちゃと、リーアムはいっしょうけんめい世話をはじめた。やがて草木は息を吹きかえし、線路を前進しはじめた。ニューヨークで本当にあったすてきなお話。</p>
<p>『ようせいアリス』</p> <p>デイビッド・シャノンさく 小川仁央やく 評論社 2009.12</p> <p>1109803683</p>	<p>わたしはアリス。ようせいよ。まだみならいのようせいだから、むずかしいまほうはつかえない。でも、まほうのついで、パパをおうまさんにかえたり、はっぱをいっぱいふらせたりできるのよ。せいしきなようせいになるためには、じょうきゅうのようせいがっこうにかよわなくちゃいけないんだけど…。</p>